

科 目 名	音楽
単 位	2
教 員 名	菅野 道雄
授 業 概 要	<p>人間の生活に音楽がどのようにかかわっているかを、多面的に理解することができるよう、様々な地域の様々な時代の音楽を紹介する。特に、以下の3つの視点から音楽の本質に迫るように選曲した。</p> <p>① 音楽とは何か？音楽の起源はどこにあるのか。</p> <p>② 極限に置かれたとき、人は音楽にどのような力を求めたのか</p> <p>③ 現代生活の中で、私たちはどのように音楽を生かすべきか</p>
授業の目的・ 到達目標	<p>(授業の目的) 音楽は人間の生活に不可欠なものであるが、その現実のあり方は極めて多様である。本講では、特に他の芸術や社会生活などと切り離しては考えられない音楽作品の鑑賞を中心に据え、人と文化と音楽芸術とのかかわりへの関心を深める。</p> <p>(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の多様性を様々な例を体感することで理解する。 ・歴史的な出来事と音楽とのかかわりを実際の音楽作品を通して理解する。 ・「人間にとって音楽することとは何か？」と常に問い続ける姿勢を持つ。
授 業 計 画	<p>第1回：神話の物語</p> <p>第2回：自然の模倣から始まる音楽</p> <p>第3回：愛の物語</p> <p>第4回：労働と音楽</p> <p>第5回：日々の生活の中の音楽</p> <p>第6回：ミュージカルとは</p> <p>第7回：演奏という表現</p> <p>第8回：アウシュビッツに消えた音楽家</p> <p>第9回：消えない音楽への想い</p> <p>第10回：日本音楽史概観</p> <p>第11回：アジアの音楽</p> <p>第12回：ジャズ・オペラ「ポーギーとベス」</p> <p>第13回：アフリカからアメリカへ</p> <p>第14回：現代音楽の創造者</p> <p>第15回：音楽は何のためにあるのか（まとめに代えて）。</p>

予習・復習	毎回聴取した音楽と本講の全体課題との関わりを考察し、自分なりの見解をまとめておくこと。
成績評価の基準	課題レポート 70% 受講態度 30% レポート：人の暮らしと音楽について論じる課題 受講態度：主体性を持って参加しているか
教科書	印刷資料を配布します
参考書	必要に応じて講義内で提示する
備考・その他	